

平成28年度 第1回江別市文化財保護委員会会議録（要旨）

日 時	平成28年9月30日（金） 午後3時00分～午後4時53分
場 所	江別市教育庁舎 大会議室
出席委員 （8名）	田村邦雄、岡崎晃三、小田嶋政子、右代啓視、西田秀子、池田典子、本吉トキ子、忠岡三七海
欠席委員 （2名）	小林孝二、今井正樹
市・事務局 （7名）	教育長、教育部長、教育部次長、郷土資料館長、業務係長、文化財係長、文化財係主事
傍聴者 （0名）	なし
議 題	（1）江別市指定文化財の指定について（諮問） （2）平成28年度事業の経過報告について

会議録（要旨）

事務局	（午後3時00分開会） ただいまより、平成28年度第1回文化財保護委員会を開会する。
	《教育長から委嘱状交付》
教育長	《挨拶》
各委員および 事務局	《自己紹介》
事務局	役員の選出方法について御意見を伺う。
委員	役員の選出は、事務局から提案願う。
	《委員一同了承》
事務局	委員長に田村氏、副委員長に小林氏の就任を提案する。
	《委員一同了承》
事務局	小林委員は本日欠席しているが、事前に選出された場合の内諾を得ている。
	《以降、条例施行規則により委員長が議事進行》
委員長	《挨拶》 事務局より、「江別市指定文化財の指定について」説明願う。
教育長	《諮問書交付》
事務局	教育長公務のため、退席することを了承願う。
	《教育長退席》
委員長	諮問の内容について事務局から説明願う。
事務局	《旧岡田倉庫の概要説明》
委員長	事務局からの内容説明について、何か質問・意見等はないか。
委員	なぜ今なのかという疑問がある。

	<p>11年前、アトリエネットワーク事業で、3000万円かけ改修を行った。市の依頼を受けて引き受けた。</p> <p>そのままにしておくとしたら朽ちてしまうが、活用することによって残すことができるので今まで努力してきた。</p>
委員長	<p>従来から評価されていた建築物であり、もっと早くても良かったと思う。</p>
委員	<p>観光ボランティアでは必ず案内する。</p> <p>町の紹介をするとき、「交通」がキーワードとなる。</p> <p>鉄道が通る前は石狩川の利用が多くあったことを伝える貴重な事例。</p> <p>裏口から戸を開くと、「本当に港だったんだ」という声から参加者から聞こえてくる。</p> <p>文化財指定となり、今まで利用されているものがきちんと利用され、活用の仕方も力を入れていくのであれば、指定することも良い。</p>
委員	<p>先程の概要説明で、歴史的に価値があることはよくわかった。</p> <p>様式的な価値に対する説明が欲しい。</p>
事務局	<p>明治時代に札幌軟石を使用した事例として大変貴重であり、現在もほぼ原形を保っている。保存・利用のため改修を行っている。</p>
委員	<p>元来はすべて札幌軟石を使用していたが、耐震等のため改修を行った。</p> <p>天窓も当初の形ではなく、現在使い易い形にしたもの。</p> <p>文化財指定となると当初の姿で残すことが第一である。</p> <p>その点に関しては副委員長も同意見である。</p> <p>旧岡田倉庫と旧岡田家住宅の両方を指定するという話もあるが、歴史的観点から倉庫だけの指定申請とのこと。</p> <p>建築様式的には、軟石使用を奨励した時代のもので、煉瓦よりも軟石の方が強固で温湿度関係を保つことができ、現在開拓の村にある札幌駅周辺の倉庫等にも多く使用された。</p> <p>その意味では、非常に重要な例である。</p> <p>一番大切なのは、そこが昔港であったこと、歴史的景観を考えることが重要。</p> <p>市の文化財として建造物が指定されるのは初めてということなので、今後の課題を見つける上でも重要な事例である。</p> <p>建造物は10年サイクルで劣化するので、継続的な予算組みが必要である。</p> <p>これが今後、市の指定文化財から道・国へとステップする際の基準にもなる。</p>
委員長	<p>現在、江別市内において古い歴史を残す数少ない事例である。</p> <p>ただ、現在、堤防の問題が浮上している。</p> <p>防災と文化財保護の両面から、考えなければいけない。</p>
委員	<p>石狩川堤防が拡幅され、来年もしくは再来年には工事が行われるという話がある。</p> <p>その拡幅工事の予定地に旧岡田倉庫が引っかかっている。</p> <p>現在、年間100万円の補助金を経済部から受け取っているが、今後、指定文化財となった際、教育委員会の所管になるのか。</p>

	教育委員会側の考え方を聞きたい。
事務局	<p>旧岡田倉庫の所管は教育委員会ではなく、「江別市」の建物であり、指定されたとしても教育委員会が今後管理するという話はない。</p> <p>拡幅工事の件も、国の説明によると検討の段階で結論は出ていないと聞いている。</p> <p>あくまでも今回は旧岡田倉庫という建物自体が、江別市文化財指定にふさわしいかどうか十分審議いただいた上で、経済部に回答することにしたいと考えている。</p> <p>審議をいただく中で、今後外観等について御意見があれば、所管に伝えていきたい。</p>
委員長	<p>一般市民から見ても、元の形に修復するという点は受け入れられると思うが、現状では望めない。</p> <p>江別市は商店街というよりも住宅街がこれから広がっていくと思う。</p> <p>その中で昔の姿を偲ばせる文化財も必要。</p> <p>歴史性・背後にある社会生活の営みが再生の道につながるのではないかな。</p> <p>人々の記憶の中から港が消えることは防ぎたい。</p>
委員	歴史的な価値ということで、明治30年に札幌軟石を利用していることはわかったが、江別市内に旧岡田倉庫よりも古い事例はないのか。
事務局	港周辺で残っているのは旧岡田倉庫のみである。
委員	<p>では現存最古の事例として扱って良いのか。</p> <p>当時の設計図は現存しているのか。</p>
事務局	<p>設計図に関しては残念ながら確認できていない。</p> <p>平成6年の調査結果で図面化はしている。</p>
委員	<p>寄贈者から保存活用を条件として寄贈を受けていると思う。</p> <p>現状としては保存活動を行っているが、文化財に指定すると「江別市の宝」として一步前に出るという形になる。</p> <p>個人的にも価値があるものだと考えているので、できるだけ古写真などを調べ、古い段階に戻す作業がこれから求められる。</p> <p>その点も含め、指定の条件として進めて行くことが望ましい。</p>
委員長	ただいまご意見があったがどうか。
事務局	<p>現在、補強しなければ、不特定多数の人間が出入りするため活用は難しい。</p> <p>当時の形を残すという意見に関しては十分理解しているが、保存と活用を天秤にかけながら今後長く残せるものであれば残していきたいというのが経済部の考えである。</p> <p>ただ、元の形に戻さなければ指定できないという条件になるのか。</p>
委員	<p>指定に当たっての条件付けということではない。</p> <p>現在建物を活用している状況だが、10年サイクルで必ず改修しなければならない時期が来る。</p> <p>その時に、元の姿に戻していく努力をすればよい。</p>

	<p>活用しづらいような元の戻し方ではなく、外観をしっかりと残し歴史を伝えていかなければ、文化財として登録する意味がない。</p> <p>補修を繰り返し、骨組みだけ残っている状態だと文化財として認められない。</p>
委員	<p>札幌の豊平館もエレベーターを設置した際、文化庁とのやり取りに大変苦労したと聞いている。</p> <p>何らかの機会を見つけて努力をしていくことが必要。</p>
事務局	<p>当然、指定文化財となればそういった面も配慮し、保存に努めていきたい。</p>
委員	<p>そうなると、教育委員会が担当部局でなければ話がおかしくなるのではないか。</p>
委員	<p>そういうことはない。</p> <p>建物を保存・指定することに関しては、教育委員会が担当である。</p> <p>例え所管が経済部であっても、建物が修復・移転となった際、教育委員会の文化財を指定する条件に関して無視することはできない。</p> <p>行政的な協議が必要。</p> <p>道庁赤レンガの場合は、所管は総務で教育委員会に打診し、建設部が修復を行った。</p> <p>組織として踏み外していい部分と悪い部分がある。</p>
委員	<p>一度指定した文化財を解除することはあり得るのか。</p>
委員	<p>それも協議が必要。</p> <p>例えば国の指定になると個人で管理は出来ない。</p> <p>都道府県・国で協議しなければならない。</p> <p>さらに壊れた時も元に戻す対応が必要になってくる。</p> <p>その意味で「指定」というのは重い。</p> <p>覚悟も必要である。</p>
委員長	<p>取りあえず今回は指定の方向で答申を行い、今後復元のチャンスを要望してみてもどうか。</p> <p>副委員長の意見も聞きたいところだが、おそらく指定した方が良いと言うのではないか。</p> <p>現段階では、今後修復するという内容の答申で進めたい。</p> <p>あるいは、どうしてもこれは譲れないという方がいたらご意見いただきたい。</p>
委員	<p>歴史を背負っていれば、移転しても文化財の価値は消えない。</p> <p>開拓の村の事例も同様。</p> <p>価値を認め、残していきたい気持ちがある。</p> <p>補修して元に戻すということに関しては、現在中隊本部の解説を行っているが、本当に当時の姿に復元されていると価値がよくわかる。</p> <p>そこで歴史を語ることができるということが大切。</p> <p>それを継続するためにも、今後いろいろな問題が出てくることになっても、それを解決することができる方策があれば指定化した方が良い。</p> <p>現在、石狩川がどのようになるか分からない状況であればなおのこと。</p>
委員	<p>札幌大通りにある資料館は、以前市史編さん室があった。</p>

	<p>上田市長が公約で大正時代の控訴院に戻すと明言した。</p> <p>その資料館は札幌軟石を使用しており、市の文化財として重要であるということで、復元を終え、新たな時代に新たな活用法を見いだして大変にぎわっている。</p> <p>“元に戻す”ということが、現在とても重要な視点となっている。</p> <p>コンクリート建築がたくさん並ぶ中で、存在感があり、市を象徴する建造物として非常に重要な存在。</p> <p>今、残すという判断をここでしておかなければ、後悔することになる。</p>
委員長	<p>おおまかな方向性は見えて来た。</p> <p>今後どうすべきか。</p>
委員	<p>指定化に向かい、今後何が必要なのか整理しなければならない。</p> <p>もう一度委員会を開いた方が良い。</p>
委員	<p>答申はいつまでに提出すれば良いのか。</p>
事務局	<p>文化財指定を行う場合、手続きを年度内に終わることを想定している。</p> <p>そうすると、この委員会としては、年内には方向性を出していただきたい。</p>
委員長	<p>場合によっては副委員長にもう少し詳細なご意見を伺い、要望として提出したい。</p> <p>再度、審議した方がよろしいか。</p>
委員	<p>副委員長にも意見を仰ぎたい。</p> <p>その上で、委員会として同じ意識を持って、意見を提出した方が良い。</p>
事務局	<p>今日の意見の中で、指定すべきか必要ないのかという話については、一定の方向性は見えてきた。</p> <p>今回の意見を含め、事務局段階で答申の原案を整理し、一度副委員長にも今日の意見と今後の方針を伝えた上で相談していきたい。</p>
委員長	<p>次回の委員会は11～12月頃開催で良いか。</p>
事務局	<p>年内に方向性を決めていただきたいので、10月下旬から11月上旬を目途に開催を予定している。</p> <p>日程については改めて調整する。</p>
委員	<p>方向としては指定化で良い。</p>
委員長	<p>全委員にお伺いを立ててから、念を押した上で答申してほしいという委員の要望があったので、もう一度委員会を開催した方が良いのではないか。</p>
	<p>《委員一同了承》</p>
委員長	<p>では、そのような形でご理解いただき、次回の委員会もご出席願いたい。</p>
委員長	<p>続いて事務局より「平成28年度の事業の経過報告について」説明願います。</p>
事務局	<p>平成28年度郷土資料館主要事業・業務係分について報告。</p>

	(別紙「平成28年度郷土資料館主要事業」に沿って説明)
委員長	続いて文化財係より説明願う。
事務局	平成28年度郷土資料館主要事業・文化財係分について報告。 (別紙「平成28年度郷土資料館主要事業」に沿って説明)
委員長	ただいまの報告に対して質問・意見はないか。
委員	7月23日に実施した「縄文土器を作ろう！」の参加者が3名だけというのが気になる。
事務局	PRが十分に行き届かなかった。
委員長	土器作り体験そのものは人気がある。 ただ、最近の子どもは習い事などで忙しい。 集まりやすいタイミングを計らなければならない。
委員	郷土資料館は交通の利便性が悪い。 野幌方面に住んでいるとアクセスが難しい。 野幌公民館のような立地性が一番良い。
委員長	まずは郷土資料館の向かいにある第一小学校に声を掛けてみてはどうか。
委員	まずは縄文土器とは何なのかということ子どもたちに伝えることが大切。 学校に土器を展示することも検討してみてはどうか。
委員	道立埋蔵文化財センターでは体験で入館者を増やしている。 かるちやるnet(文化施設連絡協議会)に登録すると反響が大きい。 ネットで「無料」とPRすると母親の反響が大きい。
事務局	かるちやるnetにはすでに登録済み。PRに関しては今後再考したい。
委員長	他に質問、意見はないか。 事務局で付け加えることはないか。
事務局	早急に資料をまとめ、次回委員会を開催する。 日程調整については、後日個別に連絡する。
委員長	本日はこれにて閉会する。 ありがとうございました。
	閉会(午後4時53分)